

## 1. 略歴

- 1993年3月 一橋大学社会学部卒業  
1994年4月 東京大学大学院 社会学研究科社会学専攻 修士課程入学  
1996年3月 同 人文社会系研究科社会文化研究専攻 修士課程修了  
1996年4月 同 博士課程進学  
2001年3月 同 博士課程単位取得退学  
2001年4月 博士(社会学)学位取得(東京大学)  
2001年4月-2007年3月 立命館大学産業社会学部助教授  
2005年9月-2006年9月 フランクフルト大学社会研究所客員研究員  
2007年4月-2008年3月 立命館大学産業社会学部准教授  
2008年4月 明治大学情報コミュニケーション学部准教授  
2011年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

理論社会学 社会学史研究

### b 研究課題

- (1) フランクフルト学派の学説史研究
- (2) コミュニケーション理論、承認理論に基づく批判的社会理論の展開
- (3) 日本の社会学史の再評価と海外への紹介

### c 概要と自己評価

- (1) エーリッヒ・フロムの理性概念とそれに基づく社会批判の再構成を行っている。その成果を国際エーリッヒ・フロム協会主催の国際会議で報告、論文として発表した。現在は後期フロムのナルシズム論の再評価を行う一方、後期ヒューマニズムを生成の哲学の観点から再構成する作業に取り組んでいる。
- (2) 現代資本主義の構造的特質を理論的に解明する。「資本主義的近代化のパラドックス」や現代社会がかかえる社会病理の諸相を承認論、コミュニケーション論の観点から分析している。
- (3) 欧米の社会学理論を背景に戦後日本で発展した社会学理論の独自性に注目し、その現代的意義を再評価すると同時に、国際会議の場で世界に発信している。

### d 主要業績

#### (1) 論文

出口剛司、「戦後社会の生成と価値の社会学：作田啓一における『近代の超克』とその社会的展開」(奥村隆編『作田啓一 vs. 見田宗介』弘文堂、pp.40-74、2016.11)

Takeshi Deguchi, 'Sociology of Japanese Literature after the Great East Japan Earthquake: Analysing the disaster's underrepresented impacts'. 『Anthony Elliott and Eric L. Hsu (Eds), The consequences of global disasters. New York: Routledge』、pp. 50-63、2016

#### (2) 学会発表

国際、Takeshi Deguchi、「Akira Kurihara's critical sociology and the "identity of tenderness": Reconsidering "colonisation of the lifeworld" from the anti-productivism perspective」、9th International Critical Theory Conference in Rome. John Felice Rome Venter of Loyola University Chicago. Rome in Italy. 5th-7th May 2016

国際、Takeshi Deguchi、「Akira Kurihara's critical sociology and the "identity of tenderness": Reconsidering "colonisation of the lifeworld" from the anti-productivism perspective」、2014 SNU-UT Joint Sociological Forum, University of Tokyo. 14th-15th November 2016

国内(司会)、出口剛司、「社会学理論の最前線—空間」、日本社会学史学会大会(シンポジウム)、東京女子大学、2016年6月26日

国内、出口剛司、「戦後社会の生成と価値の社会学：初期作田における『近代の超克』を手がかりにして」、日本社会学理論学会(特別セッション・作田啓一の社会学)、神戸学院大学、2016年9月3日

国内（司会）、出口剛司、「社会学理論の最前線—社会」、日本社会学史学会大会（シンポジウム）、広島大学、2017年  
6月25日

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、明治大学大学院情報コミュニケーション研究科、「社会的人間論」、2013.4～

非常勤講師、明治大学情報コミュニケーション学部、「コミュニケーション基礎」、2013.4～

非常勤講師、立教大学社会学部、「社会学史」、2013.4～

非常勤講師、中央大学法学部、「現代社会理論」、2013.9～

#### (2) 学会

国内、日本社会学理論会、運営委員長、2014.9～

国内、日本社会学史学会、研究担当、2014.6～

#### (3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター、運営委員（学外委員）、2012.1～